

クロロピクリン

Chloropicrin

Cl_3CNO_2

1. 別名

トリクロロニトロメタン ニトロトリクロロメタン

2. 性質

液体 無色 刺激臭

分子量；	164.38	比重；	1.651
蒸気密度；	5.67	沸点；	112
蒸気圧；	2.7kpa(蒸気濃度2.76%)		
溶解性；	難(25 0.16g/100g水)		
許容濃度；	日本0.1ppm 米国0.1ppm(TWA)		

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性；なし 不燃性

人体への影響；蒸気は粘膜を刺激し、催涙、結膜炎を起こす。吸入すると、悪心、せき、呼吸困難、肺浮腫などを起こし、50ppm以上10分以内に致命的、250ppm2分以内に死亡(注：クロロピクリンは熱に不安定で、過熱すると分解し有毒なガスを発生する。)
臭気限界1ppm

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法

5. 用途及び発生場所

穀物くん蒸剤，土壤殺菌剤，野ねずみ駆除剤，有機合成，染料原料

6. 関係法令

毒劇法(劇物)，消防法(届出物資)，危険物船送則(毒物)，IMDGコード・クラス6.1

7. 検知管の適用

